

会社名 エンシュウ株式会社  
代表者名 代表取締役社長  
社長執行役員 山下 晴央  
(コード：6218 東証第一部)  
問合せ先 代表取締役 副社長執行役員  
兼 管理本部長 勝倉 宏和  
(TEL：053-447-2111)

## レーザークラッドバルブシート加工機による トヨタ自動車での量産開始について

エンシュウ株式会社（本社：静岡県浜松市南区 社長：山下 晴央 以下、エンシュウ）は、トヨタ自動車株式会社（本社：愛知県豊田市トヨタ町 代表取締役社長：豊田 章男 以下、トヨタ自動車）と共に開発したレーザークラッドバルブシート加工機の納入、及び立上げが完了し、量産を開始しましたことのお知らせ致します。

トヨタ自動車にて開発されたレーザークラッド工法を、トヨタ自動車関連各部署と連携しながら、エンシュウが今までに培ってきたレーザー関連技術と、数十年に渡るトヨタ自動車向け量産機械加工設備納入経験を結集し、開発時より更に進歩したレーザー小型化技術等を織込んで設計、製作した実証試験ラインでの各種評価を経て、新世代TNGAエンジン量産ラインへの納入に至りました。

この量産設備にて生産された、高動力性能で燃費性能にも優れた新世代「ダイナミックフォースエンジン」を初めて搭載するカムリや、今後搭載される各種乗用車が、多くのお客様に選ばれる事を期待しております。

過去、エンシュウは欧州設備メーカーと技術提携をし、間接冷し嵌め工法（液体窒素を封入した円筒内部でバルブシートを間接冷却し、径を縮小させて圧入する方式）を適用したバルブシート圧入装置を多くの自動車メーカーに多数納入して来ました。これは加熱嵌め工法と呼ばれるシリンダーヘッド全体を加熱膨張させバルブシートを圧入する方式よりランニングコストの低減、設備設置面積の縮小が図れるものでした。

トヨタ自動車と開発したレーザークラッドバルブシート加工機は、この間接冷し嵌め工法よりも総合的に地球環境に優しい技術であり、自社製品技術を更に向上させることも出来ました。

エンシュウは、この新型工法を過去技術工法の代替量産設備として普及させ、又、根幹であるターキービジネス拡大の一助となるように、今後共、一層努力して参ります。

本件に関し平成 29 年 5 月 12 日公表の平成 30 年 3 月期の連結業績予想へあたえる影響はありません。また、平成 31 年 3 月期以降の連結業績への影響については、都度適切に開示、反映していきます。

注) レーザークラッドバルブシート（加工）とは？

シリンダーヘッドのバルブポート部に、金属粉末を供給しながらレーザーにて熔融させ、直接肉盛りするものです。

従来は金属粉末を焼結したバルブシートを、バルブポート部に圧入埋め込みしていました。

本件に関するお問い合わせは、営業部営業課までお願いします。

Tel:053-588-2671 Fax:053-588-2469